

集約化・提案型施業 かわら版

木材安定供給体制整備促進ブロック会議を開催！

国産材の安定供給を目指し、
2007年1月22日～2月8日にかけて、全国8箇所、
全国森林組合連合会と共催でブロック会議を行いました。

国産材の供給体制については、需要者のニーズに的確に対応し得る安定供給体制の整備が大きな課題となっています。

そこで需要に対応した国産材を低コストで安定的に供給する体制整備や、森林吸収源対策を含む間伐等の的確な推進を図るため、都道府県、都道府県森連、林業・木材産業関係団体、国有林関係者や森林組合の参加を得て、ブロック会議を開催しました。

会議は、2部制で行われ、午前の都道府県部長等会議では、木材安定供給体制の整備の考え方や、森林吸収目標達成に向けた森林整備予算について林野庁からの説明と各都道府県からの取組の考え方の発表の後、意見交換を実施しました。午後の実務者会議では、木材安定供給に向けた「施業集約化・供給情報集積事業」をはじめとする新規事業の内容について林野庁より説明し、質疑応答を行いました。

木材安定供給体制整備近畿・北陸ブロック会議



近畿・北陸ブロック会議で
挨拶する辻 林野庁長官

林野庁長官 挨拶要旨

- ・ 国産材の安定供給と森林吸収源対策を含む森林整備の的確な推進が大きな課題。
- ・ 外材が高止まりしており、将来安定的に輸入されるか不透明であることなど、国産材への期待が高まっている。
- ・ このような状況の中、国内では集成材工場、合板工場などの大型工場へ設備投資が行われており、国産材を安定的に供給することが重要な課題である。
- ・ これを実現するため、都道府県単位で、民有林・国有林関係者が集まったの木材安定供給に向けた協議会を設置することが必要。
- ・ 施業に関心のない人たちに施業の委託等をしていただくため、コスト、施業方法を森林所有者に明示する提案型集約化施業を全国的に広げていきたい。
- ・ 所有者の施業への関心を持たせるためには、所有者への利益の還元が必要であり、そのため、高性能林業機械と組み合わせた低コスト作業路の整備を進めていきたい。
- ・ また、流通経費の削減も必要であり、直送或いは物流と商流を分けていく、そのためには川上と川下をつなぐコーディネーターの育成が必要。
- ・ 関係者が一丸となってこれらの取組みを進め、国産材への追い風を活かしていきたい。



北海道ブロック



東北ブロック



関東ブロック



中部ブロック



中国ブロック

多くの関係者の皆様に参加していただきました。

ブロック名	開催場所	開催日	参加者内訳(人)				
			都道府県	森林組合系統	団体・事業体等	林野庁	計
北海道	札幌市	2月 2日(金)	23	61	23	7	114
東北	秋田市	1月22日(月)	21	42	19	8	90
関東	前橋市	2月 8日(木)	44	38	30	7	119
中部	静岡市	2月 7日(水)	21	39	22	7	89
近畿・北陸	津市	1月24日(水)	26	59	22	9	116
中国	松江市	2月 5日(月)	23	31	18	7	79
四国	高知市	2月 6日(火)	18	29	20	6	73
九州	熊本市	1月31日(水)	34	24	16	8	82
計			210	323	170	59	762

◆ 192の森林組合が
今回のブロック会議等に参加しました。

こんな質問・意見等が出されました。

木材安定供給体制・協議会

- 協議会には川下の関係者も入れて意見を聞きながら取り組むべき。
- 流域圏の関係もあり、地域ブロックの見直しをお願いしたい。
- 都道府県に設置する協議会は補助対象にならないのか。
- 新生産システムとの関係はどうなるのか。

施業集約化・供給情報集積事業

- 集約化する面積の要件はあるのか。
- 集約化あるいは情報集積の対象として、皆伐や広葉樹も該当するのか。
- 集約化面積のうち、どれだけ伐採可能森林として調査しなければならないのか。
- 実施要領等は、いつ頃示されるのか。
- 集約化は今後取り組むこととして、19年度は研修だけの参加も可能なのか。
- 既に施業プランナーの研修を受講している場合の取扱いはどうなるのか。
- 森林整備地域活動支援交付金との関わりはどうなるのか。

今後の予定……

施業集約化・供給情報集積事業 要望調査の実施

平成19年度「施業集約化・情報集積事業」の実施要望の最終的な調査を2月下旬から開始します。

- ① 施業の集約化
- ② 施業プランナーの養成研修
- ③ 不在村所有者への働きかけ

について実施(参加)をお考えの森林組合等林業事業体の皆様、積極的な参加をお待ちしています。
×切は3月上旬の予定です。
詳しくは都道府県森連にお問い合わせ下さい。

ブロック会議で出された質問の「Q&A」の作成

木材安定供給体制整備促進ブロック会議では、「施業集約化・情報集積事業」に関する各種の質問等がありました。
これらの質問等とそれに対する回答を取りまとめた「Q&A」を作成中です。
要望調査の際に併せて配布する予定ですので、参考に御活用下さい。



四国
ブロック



九州
ブロック

* 林野庁ホームページの各種施策紹介のコーナーで「施業集約化・供給情報集積事業 取組の手引き」、「Q&A」をPDFファイルで掲載します。

次回のニュースレターの発行は4月上旬を予定しています。

<http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/sesakusyokai/syuyakuka/newsletter.html>

企画・発行: 林野庁林政部経営課 提案型施業推進事務局 TEL: 03-3501-3810/Fax: 03-3502-1649